

3-2 ICID副会長選の結果

- ・本年で任期満了を迎える副会長(3名)の後任を決める選挙に対して、候補者は3名のみであるため投票は3名の候補者の序列を決めるために行われた。
- ・日本は、1. インド、2. フランス、3. 南アフリカ の序列で投票し、1. フランス、2. 南アフリカ、3. インドの序列で副会長が選出された。

会長(任期2020~2023)

	氏名	国名
1	Prof. Dr. Ragab Ragab	イギリス

現副会長

	氏名	国名	任期
1	Dr. Mochammad Amron	インドネシア	2019-2022
2	Prof.Dr.Hesham Mostafa Mohamed Ali	エジプト	2019-2022
3	Dr. Shavkat Rakhimovich Khamraev	ウズベキスタン	2019-2022
4	Prof. Choi, Jin-Yong	韓国	2020-2023
5	Dato' Ir. Nor Hisham bin Mohd Ghazali	マレーシア	2020-2023
6	Eng. Rafat Nael Al- Intaki	イラク	2020-2023
7	Dr. Tsugihiko Watanabe	日本	2021-2024
8	Mr. Aziz Fertahi	モロッコ	2021-2024
9	Mr. Ali Reza Salamat	イラン	2021-2024

新副会長(任期2022~2025)

	氏名	国名
1	Mr. Bruno Grawitz	フランス
2	Prof. Sylvester Mpandeli	南アフリカ
3	Mr. Kushvinder Vohra	インド

継続

改選後の地域別副会長数

- アジア・オセアニア地域 6
- アフリカ地域 2
- ヨーロッパ地域 1

3-3 世界かんがい施設遺産の登録

○ 日本から申請した「香貫用水(静岡県沼津市)」、「寺谷用水(静岡県磐田市)」及び「井川用水(大阪府泉佐野市)」が登録され、登録証等が授与された。

【日本から新たに登録された3地区】

ゆかわようすい
井川用水
(大阪府泉佐野市)
・供用開始: 1446年



【登録のポイント】
800年前から利用され、
荘園及び地域の水田開
発に大きな役割を果たし、
今も尚地域に農業用水を
安定供給している歴史的
かんがい施設

てらだにようすい
寺谷用水
(静岡県磐田市)
・供用開始: 1590年



【登録のポイント】
画期的な技術を取り入れた
革新的なプロジェクトにより
食糧の生産性を向上させ、
水田農業の発展や農家の
経済状況の改善に寄与し
たかんがいシステム

かぬきようすい
香貫用水
(静岡県沼津市)
・供用開始: 1620~1629年



【登録のポイント】
この地域の水不足を解消
し、農業の発展に重要な
転機をもたらした、顕著な
歴史的かんがい施設



世界かんがい施設遺産登録証・楯の授与

国名	登録数		
	前回 まで	今回 登録	合計
日本	44	3	47
中国	26	4	30
インド	10	4	14
イラン	8	-	8
スリランカ	8	4	12
韓国	7	1	8
イタリア	4	-	4
豪州	2	1	3
エジプト	2	-	2
メキシコ	2	-	2
タイ	2	-	2
アメリカ	2	-	2
イラク	2	2	4
マレーシア	1	-	1
パキスタン	1	-	1
ロシア	1	-	1
モロッコ	1	-	1
合計	123	19	142

3-3 世界かんがい施設遺産の登録

令和4年10月7日 静岡新聞

令和4年10月21日 毎日新聞



寺谷用水 静岡
香貫用水 沼津

世界かんがい遺産登録

先進的技術の評価

静岡市の寺谷用水と沼津市の香貫用水を登録するICIDの国際執行理事会(ICID)が、本県に「世界かんがい施設遺産」に選定された。同日、オーストラリアのメルボルンで開かれたICIDの国際執行理事会で決定した。選定された施設は、香貫用水(沼津市)と寺谷用水(静岡市)の2カ所。

香貫用水は、香貫川を水源とし、1400年に築かれた。香貫川の水は、香貫川の水田灌漑を築いた。香貫用水は、香貫川の水田灌漑を築いた。香貫用水は、香貫川の水田灌漑を築いた。

寺谷用水は、寺谷川を水源とし、1400年に築かれた。寺谷川の水は、寺谷川の水田灌漑を築いた。寺谷用水は、寺谷川の水田灌漑を築いた。



泉佐野の井川用水を選定

ICID 世界かんがい施設遺産に

農林水産省は、歴史的な価値のある農業用水利施設を登録する「世界かんがい施設遺産」に、国内から静岡県沼津市の香貫用水、同県静岡市の寺谷用水、泉佐野市の井川用水、水田・農水省提供の3施設が選ばれたと発表した。国際かんがい排水委員会(ICID)が選定した。国内の登録は計47施設と決まった。

ICIDの国内委員会が今年6月、3施設を候補として申請し、オーストラリアで開かれた国際執行理事会で登録が決まった。

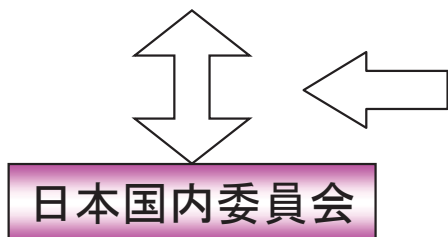
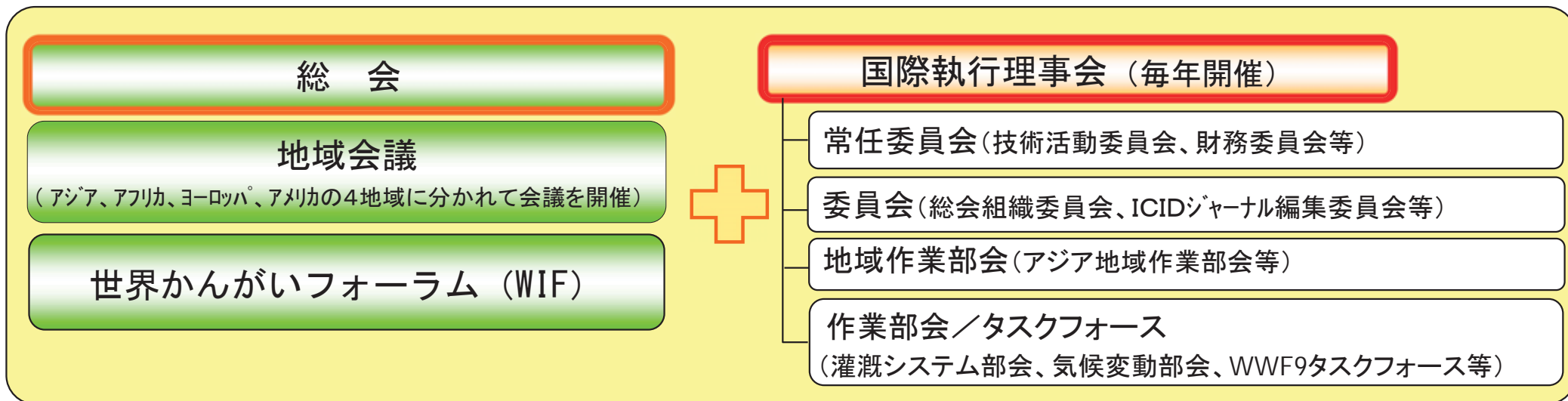
世界かんがい施設遺産は、かんがい農業の発展に貢献した水路やせき、ため池などを保存する目的で2014年に創設された。建設から100年以上経過した施設が対象となる。

3-4. 今後の国際執行理事会開催予定

- 今後の主要な国際会議の開催予定を次のとおり決定した。
 - ・ 第74回国際執行理事会及び第4回世界かんがいフォーラム 2023年4月(中国)
 - ・ 第75回国際執行理事会及び第25回総会 2023年11月(インド)
 - ・ 第76回国際執行理事会及び第9回アジア地域会議 2024年9月(オーストラリア)
 - ・ 第77回国際執行理事会及び第5回世界かんがいフォーラム 2025年9月(マレーシア)

(参考) 国際かんがい排水委員会 (ICID) の概要

- 国際かんがい排水委員会 (ICID) は、かんがい排水に係る科学的、技術的知見により、食料や繊維の供給を世界規模で強化することを目的として1950年に設立された自発的非営利・非政府国際機関(本部: インド(ニューデリー))。
- 毎年、国際執行理事会及び常任委員会や各種作業部会等が開催され、各国国内委員会委員が参加し、ICIDの政策・運営等に関する議論、技術・情報の交換等を行う。
- 通常は、国際執行理事会と合わせて、3年に一度、総会、地域会議、世界かんがいフォーラムをローテーションで開催。今年は総会と同時開催。



農業農村振興整備部会

ICIDに関する事項、かんがい排水の改良発達に関する重要事項等を調査・審議

学術経験者等をメンバーとし、かんがい・排水・洪水等に関する知見の収集・発信

委員 : 渡邊紹裕委員長 (京都大学名誉教授) 等 18名

事務局 : 農林水産省農村振興局整備部設計課



ICID・CIID

ICID国際執行理事会 (IEC)

PCSO (組織委員会)

PCTA (技術委員会)

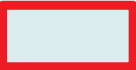
PFC (財務委員会)

MB (運営委員会)

CO (本部)

- AFRWG**
アフリカ地域部会
- ASRWG**
アジア地域部会
- ERWG**
ヨーロッパ地域部会
- C-CONGR**
総会組織委員会
- ICID-YPF**
若手灌漑技術者フォーラム
- AMRWG**
アメリカ地域部会

- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------|
| EB-JOUR
ジャーナル編集委員会 | WG-ENV
環境部会 | WG-IOA
制度・組織部会 | WG-NCWRI
新たな水資源の灌漑利用部会 |
| WG-HIST
歴史部会 | WG-SDTA
感潮地域の持続開発部会 | WG-LDRG
農地排水部会 | WG-SONFARM
持続可能な末端灌漑システム開発部会 |
| WG-CDTE
能力開発研修教育部会 | WG-MWSCD
水不足対応部会 | WG-M&R
灌漑施設の近代化と再活性化部会 | |
| TF-WWF9
WWF9タスクフォース | WG-CLIMATE
気候変動部会 | WG-IDM
灌漑の発展と管理部会 | |
| WG-VE
VE部会 | WG-IDSST
社会・経済変革期における灌漑排水部会 | WG-WATS
農業用水節水部会 | |
| TF-MTD
多言語技術辞書タスクフォース | WG-AFM
高度洪水管理部会 | WG-RWH
レインウォーターハーベスト部会 | |
| | WG-WFE-N
水・食料・エネルギーネクサス部会 | | |



: ICID日本国内委員
が所属する部会等

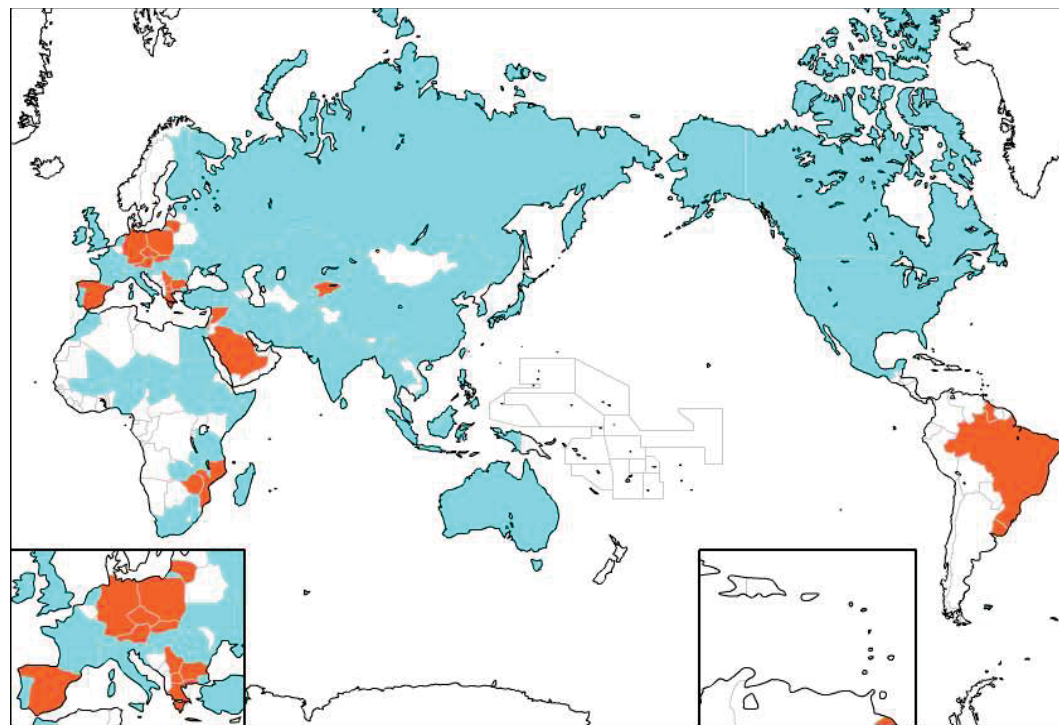
(参考)ICID日本国内委員会について

○ 日本は ICID日本国内委員会を設置し、1951年にICIDに加盟。日本国内委員会の委員による作業部会等での活動を通じ、我が国と世界のかんがい排水技術の情報を収集・発信し、世界の食料安全保障の確保等に貢献。

【ICID日本国内委員会委員】

委員名	所 属	役 職
奥田 透	全国農村振興技術連盟	委員長
加藤 亮	東京農工大学大学院農学研究院	教授
木村 匡臣	近畿大学農学部環境管理学科	講師
久野 叔彦	(株)三祐コンサルタンツ	顧問
越山 直子	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 水利基盤チーム	主任研究員
雑賀 幸哉	サンスイコンサルタント(株)	取締役
清水 克之	鳥取大学農学部生命環境農学科	教授
杉浦 未希子	上智大学グローバル教育センター	教授
辻本 久美子	岡山大学大学院環境生命科学研究所	助教
長野 宇規	神戸大学大学院農学研究科	准教授
乃田 啓吾	岐阜大学応用生物科学部生産環境科学課程	准教授
福田 信二	東京農工大学大学院農学研究院	教授
松野 裕	近畿大学農学部環境管理学科	教授
皆川 裕樹	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究 機構 農村工学研究部門 水利工学研究領域	上級研究員
向井 章恵	国立研究開発法人 農業・食品産業総合研究機構 農村工学研究部門 水利工学研究領域	上級研究員
森 卓	NTCインターナショナル株式会社	代表取締役 社長
吉川 夏樹	新潟大学農学部	教授
渡邊 紹裕 【委員長】	京都大学	名誉教授

【ICID加盟国・地域の分布】



:加盟国 58ヶ国・地域
 :準加盟国 20ヶ国

ICID加盟国・地域数の合計 : 78

うち、アジア・オセアニア地域 28ヶ国・地域

アフリカ地域 17ヶ国

アメリカ地域 6ヶ国

ヨーロッパ地域 27ヶ国

※委員は50音順に記載



資料に掲載した地図は、必ずしも、の領土を包括的に示すものではありません。